

弥生時代のむら - 木器^{もつき}

木は、ひとにとって身近な存在であり、昔から色々な形に加工され、利用されてきました。

弥生時代の木器（イメージ）



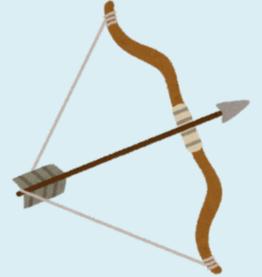
木の^{つか}斧の柄（木の伐採等）



のうこうぐ農耕具



容器・食器



武器

木器は、土器や石器とは違い、土の中に埋まっている間に壊れたり、腐ってなくなったりしてしまいます。そのため木器の保存のためには科学的な処理を施す必要があり、土器や石器と比べて取扱いの難しいものと言えます。

野々市市内では、弥生時代の木器は見つかっていません。

また、木にはいろいろな種類（樹種^{じしゅ}）がありますが、当時の人々は加工したい道具に対して最適な樹種を選択して木器を製作していました。

ポイント

弥生時代の木器は日常生活のあらゆる場面で使用されていたと考えられ、人々の生活に密着した道具でした。